

## 数理・データサイエンス・A I 教育プログラム自己点検評価報告（令和7年度）（案）

### 1. 自己点検評価の内容

福山大学では、数理・データサイエンス・A I 教育プログラムを二つのレベルで実施している。リテラシーレベルは令和2年度から開始して現在6年目、応用基礎レベルは令和3年度から開始して現在5年目となる。両レベルともに令和3年度の実績により、文部科学省から正式に「数理・データサイエンス・A I 教育プログラム（リテラシーレベル・応用基礎レベル）」として認定を受けた。この認定の有効期限は令和9年3月31日までである。

本プログラムは現在、認定でも定められている適切な教育内容を安定して提供しており、運営面での問題は無い。そして、必要な教育内容の改善を進めている。修了証の発行については段階的に進み、リテラシーレベルは令和5年度から、応用基礎レベルは令和6年度から、それぞれ卒業生を対象とした発行を開始した。また、他大学との連携も積極的に継続しており、プログラムのさらなる発展を目指している。今後も社会が求める人材育成を目標に、適切な教育内容の提供に努める。

### 2. 実績

- 令和7年9月：高知大学・全学FDにおける講演  
高知大学からの招待により、福山大学工学部の数理・データサイエンス・A I 教育プログラム（応用基礎レベル）の取り組みに関する講演を行い、当プログラムの普及・発展を行った。
- 令和7年12月：2025年度第3回全学FD研修「教育におけるAI活用に関する情報提供」の主催  
大学教育センター教育開発部門の協力を得て開催した。4名の講師が教育におけるAI活用の基礎知識、実践事例、注意点を多角的に紹介した。
- 令和7年4月～12月：新規科目「未来を拓くデジタルリテラシー」への貢献  
学生が基礎から学び、デジタルスキルと判断力と思考力を養成する科目として令和8年度より新規開講される教養教育科目「未来を拓くデジタルリテラシー」について、授業内容についての相談に応じることにより貢献した。
- 令和8年3月：他大学との連携  
福山平成大学における数理・データサイエンス・A I 教育プログラムの自己点検・評価活動へ協力した。
- その他全般：数理・データサイエンス・A I の教材の充実  
数理・データサイエンス・A I の教材について内容の拡充を実施した。うち一部は、オープンな教育リソースとして公開している。

以上が、数理・データサイエンス・A I 教育部門の令和7年度における活動と成果である。